

みみはらWEBメディカルカンファレンス

乳腺外科の講演報告

質や量ともに、安心・安全な治療体制を



耳原総合病院では昨年末から各診療科が打ち出した診療内容をオンラインで発信する『みみはらWEBメディカルカンファレンス』を行っています。コロナ禍においても、医療従事者向けの研修会が地域から求められる中、各部長医師が中心となり毎月の開催を決めました。

日ごろの連携医療機関に加えオンラインのメリットとして、他府県の医師も毎回参加されます。参加者からは、「日常診療に生かせる」「こんな診療も、みみはらでしていたことがわかった」などの感想も寄せられます。

かかりつけ医との連携強化を

今回、7月の乳腺外科部長の小田直文医師による『耳原総合病院で始めた乳房再建術について』と題した講演の報告をします。

小田部長は1年前、耳原総合病院に着任直後から、精力的に乳腺外科体制の強化に取り組みました。診療体制、手術体制はもろろのこと、働きながらの治療をチームで支える就労支援のシステム、かかりつけ医との連携強化を図るシステムなどです。

乳房再建は、自家組織（自分のからだの一部）

【乳房再建方法】

皮弁法

【広背筋】

- 入院期間約10日
- 侵襲(身体への負担)が比較的少ない
- 小さい乳房に適する
- 妊娠の不安の軽減 など

【腹直筋】

- 入院期間約14日
- 大きい乳房、下垂した乳房に適する
- 質感が良い、形が作りやすい
- 術後萎縮が軽度 など

【その他】

- 臀部穿通枝皮弁/大網/大腿部

シリコンインプラント法

- 入院期間約7日
- 侵襲が少ない(自家組織をうけないため手術・術後が楽)
- 形が一定(形が作れない)
- 手術が2回必要(エキスパンダー挿入)
- 人工物(異物)である など

脂肪注入法(脂肪・幹細胞移植)

- 入院期間約4日
- 侵襲が少ない
- 形が自然、質感が良い
- 保険適用外(自費診療) など

の移植に加え、2013年に人工乳房(インプラント)による再建術が保険適用開始となりました。講演では、連携病院の形成外科医との体制確保の経過をはじめ、いくつかある再建術の利点・欠点などをあげながら、当院で行った人工乳房による再建方法について紹介しました。違和感を減らすため、半年かけて徐々に再建していく過程などを図や写真を用いて具体的に説明されました。

より良い医療の提供
できる有意義な場に

現在、乳腺外科は女性医師も含め4人の医師体制ですが、質や量ともに、患者さんに安心・安全な治療体制を整える目標を講演でも示され、視聴した職員からも小田部長の熱意や展望について、共感の感想が寄せられました。

今後も医療従事者向けの内容として、地域の医師や看護師などごみみはらの職員が学び合いながら、患者さんにより良い医療を提供できる有意義な場となるよう、毎月計画していきます。

(地域連携室)

※乳腺外科の受診には、診療情報提供書と事前予約が必要です。

◆みみはらWEBメディカルカンファレンス

回	日時	担当科	講演者	タイトル
1	21年12月9日	循環器内科	①鈴鹿裕城部長	『虚血性疾患と心不全』
			②橋本朋美医長	『地域連携における末梢動脈疾患の診断～診断から治療まで～』
2	22年1月27日	総合診療科	①藤本卓司部長 ②杉本雪乃医長	『10回目の誤嚥性肺炎！本当に？』 『その倦怠感、大袈裟じゃないですか？』
3	22年2月24日	整形外科	吉岡篤志部長	『その脊椎、放っておいて大丈夫？』
4	22年3月31日	小児科	荻谷誠子医師	『おねしょ、スッキリ！～最近の夜尿症治療について～』
5	22年4月21日	外科	吉川健治部長	『太るメカニズムを知る～癌/循環器病/肥満治療および予防のための臨床栄養学への招待～』
6	22年5月19日	産婦人科	高木 力医長	『妊娠と薬』
7	22年6月23日	消化器内科	岩谷太平部長	『胃がんの早期発見と内視鏡治療』
8	22年7月28日	乳腺外科	小田直文部長	『耳原総合病院で始めた乳房再建術について』
9	22年8月25日	血液内科	奈良健司部長	『貧血について～caseから振り返る～』
10	22年9月22日	心臓血管外科	金田敏夫部長	『古くて新しいMICS』

ストレスチェックアンケートの実施

自らのストレス状況に気づき、セルフケアに役立てよう

「ストレスチェック制度」開始7年目

ストレス社会といわれる現代。厚生労働省の調査によると、仕事や職業生活に関して強い不安、悩み、またはストレスを感じている労働者は5割を超えています。こうした中、労働者のメンタルヘルス不調を予防するため、職場のメンタルヘルスに対する社会的期待が、より大きくなってきているように感じられます。

2015年12月の労働安全衛生法の改正を受け、2016年度から

ストレスチェックは、自らのストレス状況に気づき、セルフケアに役立てるためのもので、同仁会では、ストレスチェック後に産業医による面接や保健師の健康相談、産業カウンセラーによるカウンセリングなど、職員が利用できるような、案内しています。

また毎月、「ささえ隊ニユース」として、メンタルヘルスに関する健康情報を職員へ届けています。

同仁会の取り組み

働く人のこころの健康づくりのために、国が開設しているポータルサイト「こころの耳」(左のQRコードよりアクセスできます)をご紹介します。

「こころの耳」には、メンタルヘルスケアに役立つ情報がたくさん掲載されており、ストレスセルフチェックも行なえます。自分のストレス状態が知りたいときに、利用してみるのはいかがでしょうか。

ストレスセルフチェックの紹介

